

セメント加工

セメント訓

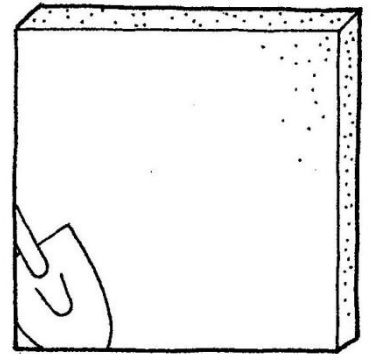
**鍛錬
協力
繊細**

目 標

- 1 セメント製品の製造するために決められた手順、方法を繰り返し練習することによって身に付ける。
- 2 良品を製造するために心を合わせ努力して作業をする。
- 3 きれいに製品を仕上げる技術を身に付ける。

【指導する上で大切にしていること】

- 教室の使用の仕方や道具の使い方を守る。道具の整理整頓を行う。
また、道具を使用する際や大きなものを運ぶときは、大きな声で声掛けをする。
- 元気な声で返事や報告をする。練り作業の声掛けの声や協力する際に掛ける声も元気な声です。



【製品作りで心がけていること】

- モルタルが一度固まってしまうとやり直しができない。作業工程やポイントの理解に力を入れ、より良い品質の製品作りをする。
- 外構作業にも力を入れており、校内に製品を敷き詰めたり、校外に出て地域の方の庭に製品を敷き詰めたりしている。昨年は、地域のゴミステーションの外構を行った。お客様のことを考え、喜んでいただけるように、正確、きれいに作業する。

【学習内容】

1 年生	2 年生	3 年生
道具の名前、実習室の使い方を学習する。また、製造工程の基礎として、練りスコップの扱い方、型枠の組み立て方を学習し、平板の製造を行う。品質だけでなく、作業スピードも意識して取り組んでいる。	クランキー平板やレンガブロック、丸ブロックなど、外部より、注文が入った製品を製造している。また、必修の授業では、外構作業の基礎として校内に平板を敷く作業も学習している。	2年生同様、外部より注文が入った製品の製造を行っている。必修の授業では、地域のゴミステーションや地域の方の庭などに外構作業も行っている。



平板



クランキー平板



レンガブロック



外構作業